



2019年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年6月8日

上場会社名 株式会社イムラ封筒 上場取引所 東
 コード番号 3955 URL <http://www.imura.co.jp>
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)井村 優
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長兼経営企画部長 (氏名)食野 直哉 (TEL)06(6910)2511
 四半期報告書提出予定日 2018年6月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年1月期第1四半期の連結業績(2018年2月1日～2018年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年1月期第1四半期	6,000	△4.0	170	△52.8	182	△51.1	190	△23.3
2018年1月期第1四半期	6,254	2.1	360	15.8	373	20.5	248	36.0

(注) 包括利益 2019年1月期第1四半期 171百万円(△34.8%) 2018年1月期第1四半期 262百万円(99.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年1月期第1四半期	18.48	18.30
2018年1月期第1四半期	24.08	23.97

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年1月期第1四半期	18,160	12,949	71.0
2018年1月期	17,608	12,895	73.0

(参考) 自己資本 2019年1月期第1四半期 12,897百万円 2018年1月期 12,850百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年1月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2019年1月期	—				
2019年1月期(予想)		0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年1月期の連結業績予想(2018年2月1日～2019年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,200	1.4	530	△4.6	560	△7.3	270	△33.9	26.21
通期	23,000	1.7	550	9.7	620	3.7	340	△18.0	33.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2019年1月期1Q	10,729,370株	2018年1月期	10,729,370株
2019年1月期1Q	428,771株	2018年1月期	428,771株
2019年1月期1Q	10,300,599株	2018年1月期1Q	10,300,649株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、本資料の発表日現在において経済環境や事業計画等に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示変更について)

当第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策、日銀の金融緩和策および好調な世界経済を背景とした企業収益の改善ならびに雇用・所得環境の改善もあり、総じて緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループを取り巻く環境は、需要動向の指標となる普通通常郵便物の総利用通数が弱含みで推移し、また、需要回復が期待されるダイレクトメール市場も、経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、広告業（折込み・ダイレクトメールの郵便料等）の実績は前年を下回る水準で推移するなど、厳しい状況が続いております。一方で、通販市場は、アパレル通販やB to B 通販の伸張を背景に、堅調な動きを持続しております。

このような情勢のもと、当社グループは、「Give & Give & Give（すべての人に最高の付加価値を届け続ける）」をテーマに掲げ、お客様に満足いただけるソリューションサービス分野への取り組みを、全社を挙げて進めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、封筒事業における地方市場及びメーリングサービス事業の不振等により、前年同期比4.0%減収の60億円となりました。損益面につきましては、減収や商品売上の構成比率上昇による売上総利益率の低下等もあり、営業利益は1億70百万円（前年同期比52.8%減）、経常利益は1億82百万円（前年同期比51.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億90百万円（前年同期比23.3%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(封筒事業)

エリア戦略として首都圏における売上の拡大を図るべく、既存得意先への深耕および新規開拓に努め、首都圏市場においては売上拡大が進むものの、地方市場の不振による影響を吸収するには至らず、売上高は48億20百万円（前年同期比1.5%減）となりました。損益面では、原材料費の抑制や外注加工の内製化を進めるものの、減収及び上述の売上総利益率の低下等により、営業利益は1億62百万円（前年同期比25.8%減）となりました。

(メーリングサービス事業)

企業のアウトソーシング需要が高まる中、ビジネスプロセスアウトソーシング（BPO）市場における販売力強化を継続し、新規案件の獲得を進めるものの、前年同期における大ロスロット案件の反動減による影響等により、売上高は6億75百万円（前年同期比11.5%減）となりました。損益面では、減収に加えサービス領域拡充に向けた設備投資に伴う償却負担増や人員増による労務人件費の増加もあって、37百万円の営業損失（前期は営業利益51百万円）となりました。

(その他)

情報システム事業及び封入機の製造販売を手掛ける子会社の業績が低調であったことを受け、売上高は5億4百万円（前年同期比15.5%減）、営業利益は43百万円（前年同期比50.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5億51百万円増加して181億60百万円となりました。これは主に、現金及び預金、受取手形及び売掛金、電子記録債権が増加したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ4億98百万円増加して52億10百万円となりました。これは主に、電子記録債務や賞与引当金が増加したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ53百万円増加して129億49百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものです。

なお、自己資本比率は同2.0ポイント低下して71.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年1月期の業績予想につきましては、2018年3月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,698	3,024
受取手形及び売掛金	3,280	3,477
電子記録債権	529	589
商品及び製品	500	459
仕掛品	237	285
原材料及び貯蔵品	348	367
その他	563	614
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	8,154	8,815
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,559	1,534
機械装置及び運搬具（純額）	1,945	1,869
土地	3,655	3,655
その他（純額）	472	479
有形固定資産合計	7,632	7,538
無形固定資産	60	61
投資その他の資産		
投資有価証券	1,185	1,164
その他	582	586
貸倒引当金	△6	△5
投資その他の資産合計	1,761	1,744
固定資産合計	9,453	9,345
資産合計	17,608	18,160

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,509	1,552
電子記録債務	993	1,269
1年内返済予定の長期借入金	39	30
未払法人税等	189	136
賞与引当金	383	634
その他	1,000	1,034
流動負債合計	4,116	4,658
固定負債		
退職給付に係る負債	126	150
資産除去債務	112	113
その他	357	289
固定負債合計	596	552
負債合計	4,712	5,210
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	1,365	1,365
利益剰余金	9,786	9,853
自己株式	△207	△207
株主資本合計	12,142	12,209
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	406	390
退職給付に係る調整累計額	302	298
その他の包括利益累計額合計	708	688
新株予約権	34	40
非支配株主持分	10	10
純資産合計	12,895	12,949
負債純資産合計	17,608	18,160

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年2月1日 至2017年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年2月1日 至2018年4月30日)
売上高	6,254	6,000
売上原価	4,845	4,774
売上総利益	1,408	1,226
販売費及び一般管理費	1,048	1,056
営業利益	360	170
営業外収益		
受取利息	0	0
受取賃貸料	5	5
売電収入	2	2
その他	10	9
営業外収益合計	18	17
営業外費用		
支払利息	0	0
賃貸費用	1	1
売電費用	1	1
その他	0	1
営業外費用合計	5	4
経常利益	373	182
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	0	1
減損損失	5	—
その他	—	0
特別損失合計	5	1
税金等調整前四半期純利益	368	181
法人税、住民税及び事業税	170	118
法人税等調整額	△50	△128
法人税等合計	119	△9
四半期純利益	249	190
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	248	190

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年2月1日 至 2017年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年2月1日 至 2018年4月30日)
四半期純利益	249	190
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	△15
退職給付に係る調整額	9	△3
その他の包括利益合計	13	△19
四半期包括利益	262	171
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	261	171
非支配株主に係る四半期包括利益	1	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年2月1日 至 2017年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	封筒事業	メーリング サービス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,893	763	5,656	597	6,254	—	6,254
セグメント間の内部売上高又は振替高	19	—	19	11	30	△30	—
計	4,912	763	5,676	608	6,284	△30	6,254
セグメント利益	219	51	271	88	359	1	360

(注) 1 その他には、以下の事業が含まれております。

コンピュータ及び周辺機器類の販売、ソフトウェアの開発
医療機関用印刷物の製造販売及び医療機関用諸物品の販売
機械器具の自動制御装置及び電子回路の設計製造販売

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年2月1日 至 2018年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	封筒事業	メーリング サービス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,820	675	5,496	504	6,000	—	6,000
セグメント間の内部売上高又は振替高	20	1	22	11	33	△33	—
計	4,841	676	5,518	515	6,034	△33	6,000
セグメント利益又は損失(△)	162	△37	124	43	168	1	170

(注) 1 その他には、以下の事業が含まれております。

コンピュータ及び周辺機器類の販売、ソフトウェアの開発
医療機関用印刷物の製造販売及び医療機関用諸物品の販売
機械器具の自動制御装置及び電子回路の設計製造販売

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。